

令和元年11月1日

サイバーセキュリティ関連情報（11月号）

鳥取県警察本部サイバー犯罪対策課

○ 東京2020、ラグビーW杯便乗詐欺にご注意を！

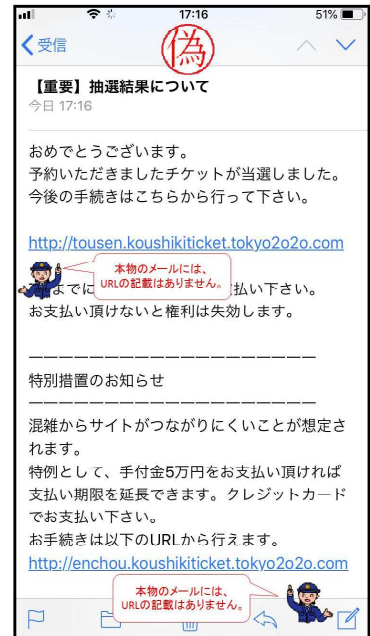
東京オリンピック・パラリンピックの観戦チケット当選やラグビーワールドカップ無料ライブ配信などを謳い文句に誘導して金銭やクレジットカード情報をだまし取る不審なサイトが確認されており、警視庁などが注意を呼び掛けています。

東京パラリンピック観戦チケットの当選を装う偽メールに記載されたURLへアクセスするよう求め、手付金5万円の支払いを求めるメールが出回っていると警視庁が発表しているほか、現在、国内で開催中の「ラグビーワールドカップ」の人気に便乗し、「無料ライブストリーミング中継」と記載された偽サイトに誘導してアカウント登録を促し、最終的にクレジットカード情報の入力を求める不審なサイトなども確認されています。

これまでも新元号改元やオリンピック、ワールドカップなどのビッグイベントに便乗する詐欺が発生しており、注意が必要となります。

参考 警視庁サイバーセキュリティ対策本部の公式ツイッター

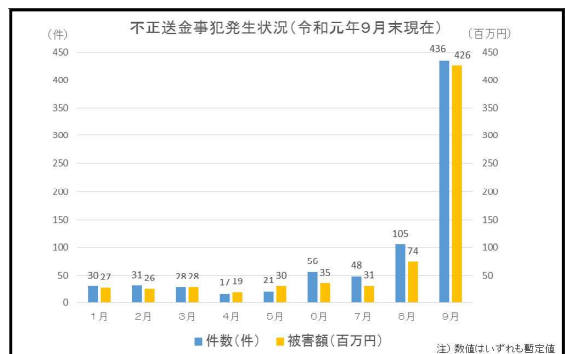
https://twitter.com/MPD_cybersec/status/1179327810361593859



○ 不正送金被害の急増について（注意喚起）

令和元年(2019年)9月からインターネットバンキングに係る不正送金事犯による被害が急増しています。

インターネットバンキングに係る不正送金被害については平成28年(2016年)以降、発生件数・被害額ともに減少傾向が続いており、令和元年上半期(1月から6月までの6か月間)における発生件数は183件、被害額は約1億6,600万円でしたが、8月における発生件数は105件、被害額は約7,400万円、また、9月における発生件数は436件、被害額は約4億2,600万円であり、9月の数値について、発生件数は平成24年(2012年)以降最多、被害額は2番目に多い水準となっています。



被害の多くはフィッシングによるものとみられます。具体的には、金融機関(銀行)を装ったフィッシングサイト(偽のログインサイト)へ誘導する、メールやショートメッセージ(SMS)が多数確認されています。このようなメールやSMSに記載されたリンクからアクセスしたサイトにID・パスワード等を入力しないよう御注意ください。

引用 警察庁 <https://www.npa.go.jp/cyber/policy/caution1910.html>

参考 JC3 <https://www.jc3.or.jp/topics/banking/phishing.html>

